

豆田町並み通信

第49号

発行者
豆田町伝
建保存会
25年7月

第九回通常総会開催される！

六月六日（金）、若の屋に於いて

豆田町伝建保存会の第九回通常総会が、実出席七五名、委任出席七八名の参加で開催されました。

来賓の原田市長は「豆田の町並みは市民共有の財産であり」「次世代へ引き継いで行く事が私達の重要な責務です」と述べました。

その後の審議では、修理物件の順位付けの明確化を行なう事、旧古賀医院を含む豆田まちづくり歴史交流館（仮称）の整備方針と指定管理者への体制整備が確認されました。

最後に役員改選が行なわれ、執行部より提案された人事案が採決の結果承認されました。（選任された役員は以下の通り）



議論重ねた総会、左上は挨拶する原田市長

職名	氏名	役職	備考
理事	広瀬 貞雄	会長	豆田
	橋本 成人		豆振
	後藤 作彦		港町
	秋山 重雄		城一
	坂本 韶敏		丸の内
	斉藤 文哉	副会長	豆一
	木下弘一郎	副会長	豆二
	波多野 平	副会長	山鉾
	石丸 文雄		豆二
	板谷 義文		港町
	森山 徳子		港町
	蔵本 勝好		港町
	石丸 邦夫		港町
監事	草野 義輔		港町
	赤司 裕昭		港町
事務局	富安 裕子	事務局長	
	坂本 静香	事務局次長	
顧問	高山 英二		豆田消防後援会

全国大会へ多数参加

五月二十二日（水）より五月二十三日（木）、薩摩川内市で開催された第三五回

全国伝統的建造物群保存地区協議会の総会には、日田市より二十八名（本伝会十名を含む）が参加し、全国の伝建地区の皆さんと交流と研修を深めました。

現地研修となった入来麓地区では、地元中学生が地区内に残る史跡の説明に立ち、後世に伝統や文化の継承を行なおうとする地元住民の意欲が感じられました。

住民分科会の「伝建地区内の拠点施設の活用策」では、地元保存会が指定管理者となつて、伝統文化の展示館や民泊として活用している事例が報告されました。

豆田町も豆田まちづくり交流館（仮称）の整備課題を抱えており、熱心な議論が行なわれました



寄贈を受け、市が茅葺屋根等の整備を行なった旧増田家住宅を説明する中学生

国史跡追加指定記念行事開催

今年三月「廣瀬淡窓旧宅及び墓」が国の史跡に追加指定された事を記念し、六月十三日に「廣瀬淡窓旧宅展」の開催式典が行われました。

式典には廣瀬理事長や指定に尽力された別府大学の豊田先生・後藤先生、岡山理科大の江面先生が駆け付けました。

廣瀬資料館の一号館では廣瀬淡窓や廣瀬久兵衛が実際に愛用した道具類や着物が初公開されています。



式典参加の廣瀬理事長や先生方



特別展の展示品に見入る参列者

祇園まつり準備進む！

今年、七月二十五日の駅前集団顔見世、二十七日、二十八日の本番行事が行われる祇園祭にむけて、豆田の四町の山元では準備作業が急ピッチで行われています。

豆田上町、下町では六月三十日にテント小屋が建てられ、七日には港町の棒鼻洗いなどのみそぎ行事を含め、山鉾の組立てなどの作業が行われていました。

特に豆田上町では山鉾を来年新調する予定になっており、現在の山鉾での曳き回しは今年が最後であり、感慨深げに山鉾の組立てを行なっていました。

又七日には山元四町で今年の祇園行事の成功を祈念して、小屋入り行事がそれぞれ行われました。

尚、豆田の山鉾の華題は以下の通りです。

一番山 豆田上町・

菅原伝授手習鑑 車引きノ場

二番山 港町・

里見八犬伝 芳流閣ノ場

三番山 豆田下町・

源平盛衰記 衣川ノ戦い

四番山 中城町・

賤ヶ岳ノ七本槍

尚、今年の豆田の晩山は土曜日は一新橋上、日曜日は御幸橋上に集合します。

各山元では山鉾に飾る人形の華麗さにも注目してほしいとの事です



山鉾を飾る「パイパイ」の白ぬり作業を行なう中城町山鉾



小野川上流のお汐井採り行事から祇園行事を始める下町山鉾



花月川の清流で、みそぎの棒鼻洗いを行なう港町山鉾



平成2年より曳廻した山鉾の最後の組立てを行なう上町山鉾



本年度の基本方針を話合った実行委員会

委員会では、昨年の花月川でのまつり会場が仮復旧だった事から本年度のまつり会場の整備状況の確認・あかりオブジェの一般公募・本年度の竹伐採箇所の確定などが協議されました。

本年度の千年あかり実行委員会が六月二十日開催されました。

千年あかり実行委開催

上城内祇園祭のお知らせ！！

日時 7月27日(土) 17時~21時
場所 上城内町 八阪神社境内
※屋台村 (壮年会・料理教室)
※厄除けパイパイ・あやめ販売
※元方の茶菓子・お神酒の接待



子供達も参加。清水町坂本橋上流で行なわれた「鍬入式」



豪雨災害からの復旧と工事の早期完成の決意を語る廣瀬県知事

花月川激甚災害対策特別緊急事業開始！

六月十六日(日)、国土交通省の足立局長・廣瀬県知事・原田市市長ら出席のもと、花月川の氾濫を未然に防止する為の「事業着工式」が文化センターにて開催されました。

この工事は五カ年で九十一億円の予算をかけ、河床の掘削、橋の架け替えなどを行なうもので、着工式後行なわれた「鍬入式」では豆田振興協議会の橋本会長らが工事の安全を願って、盛土に鍬入れを行ないました。